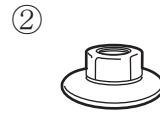
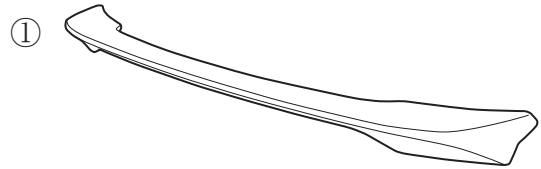


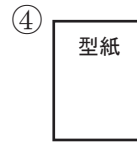


## 【構成部品表】

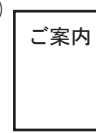
No.	PARTS NAME.	QTY.
①	テール ゲート スポイラー	1
②	フランジナット	2
③	ステッカー	1
④	型紙	1
⑤	WEB取説ご案内シート	1



③



⑤



本書本文中の使用部品番号は  
構成部品表に準じます。

## 未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑥	クッション	2



## 【必要工具】

- ・ボックスレンチ 10mm ・クリップリムーバー ・ドリルφ3、φ6、φ10
- ・トルクレンチ ・キリ ・ヤスリ ・カッター ・ハサミ ・イソプロピルアルコール
- ・ウエス ・ボディ同色のタッチアップペイント ・保護メガネ ・手袋
- ・ガムテープ ・スキージ (へら)

### ◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

## 【未塗装品】 ※塗装済み品の場合はP3の「I. 取り付け準備」から始めて下さい。

1. 塗装後、貼り付け面を脱脂し、⑥クッションを①テール ゲート スポイラーに貼り付ける。（片側1か所）

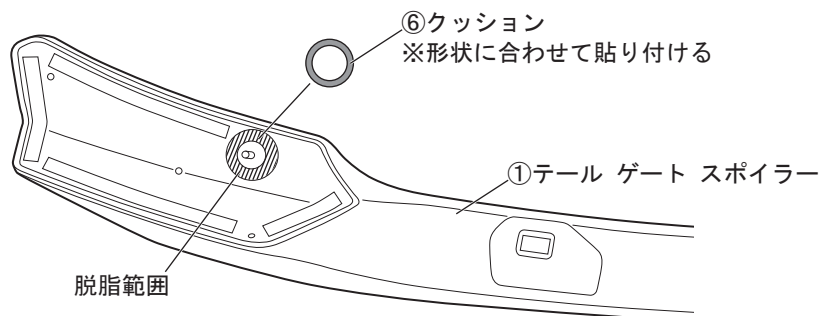
[使用部品]

⑥(2)



クッション

[下面視]

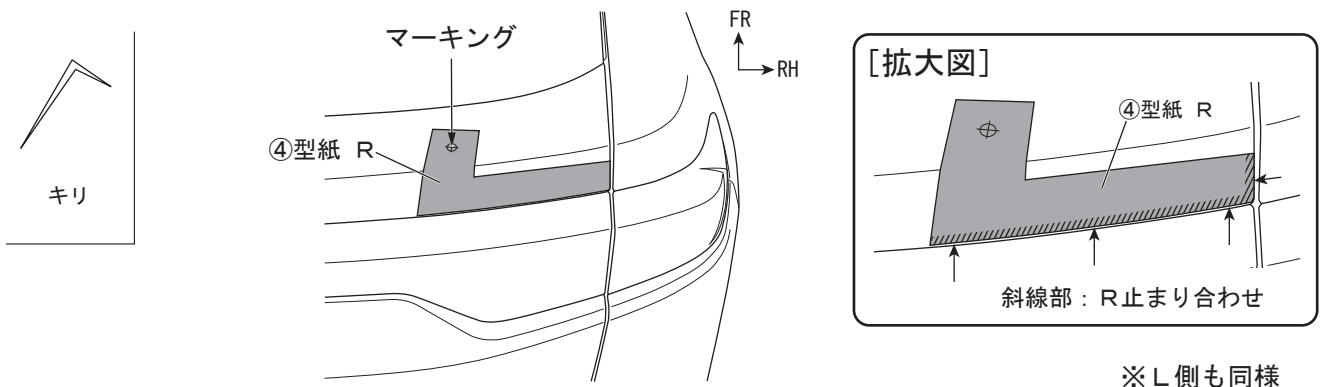


※L側も同様

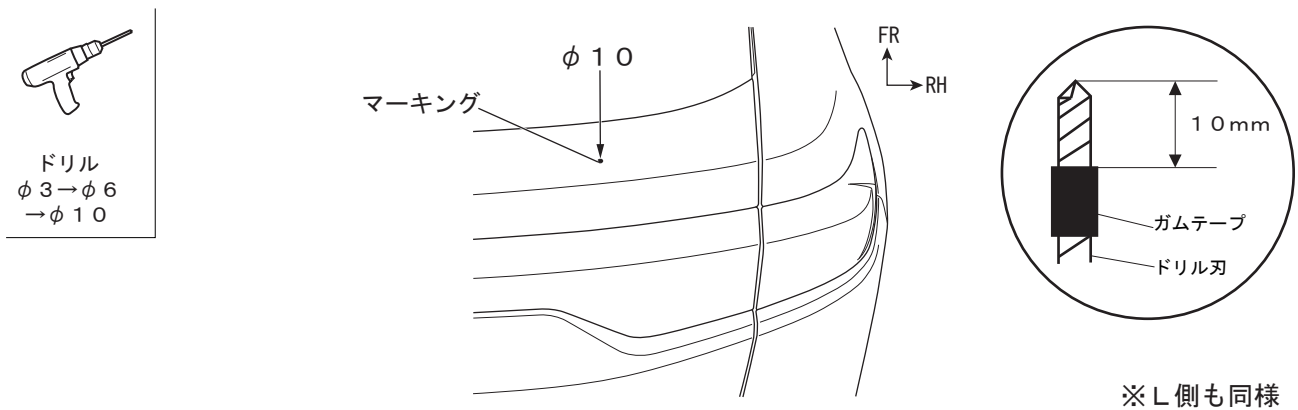
## I. 取り付け準備

- 《注意》・テール ゲート スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。  
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。  
 ・作業は左右同様に行うこと。  
 ・手を切る恐れがある為、手袋を着用し注意して作業を行うこと。  
 ・切り粉が目に入る恐れがある為、保護めがねを着用し注意して作業を行うこと。  
 ・加工部周辺に切り粉が入ってしまった場合は、クリーナー等で吸い取り除去すること。

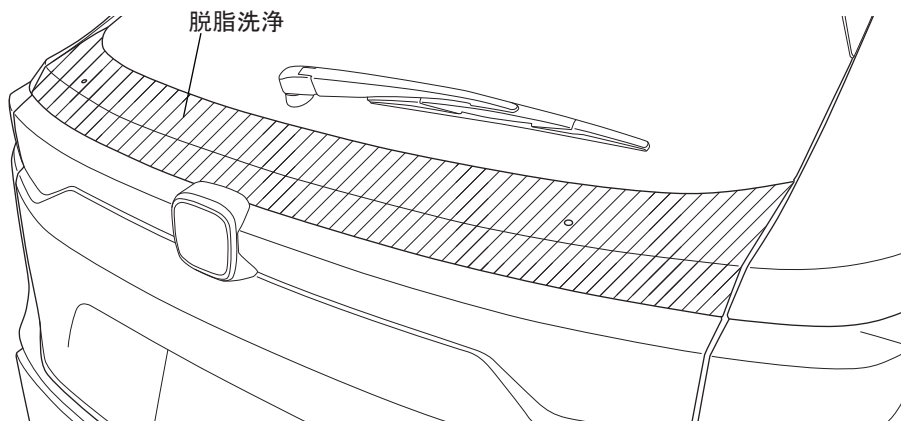
1. テール ゲートを開け、バルブ メンテナンス リッドを取り外す。(片側1か所)
2. テール ゲートの図示位置に④型紙を使用し、穴あけ位置をキリで片側1か所マーキングする。  
 マーキング後、④型紙を剥がす。



3. マーキング位置に $\phi 10$  ( $\phi 3 \rightarrow \phi 6 \rightarrow \phi 10$ ) の穴を片側1か所あける。  
 穴あけ作業の際に貫通防止策としてドリルの刃にガムテープ等を貼っておく。  
 穴あけ後、穴周囲のバリを除去してタッチアップ等で防錆処理を施す。



4. テール ゲートの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。

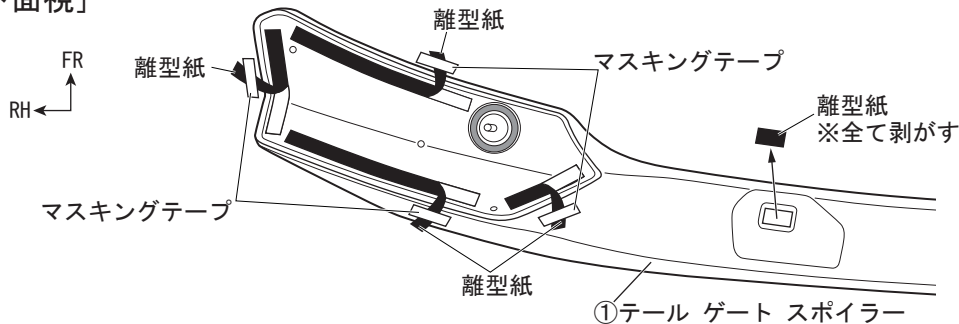


## II. テール ゲート スポイラーの取り付け

- 《注意》・テール ゲート スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。  
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。  
・作業は左右同様に行うこと。  
・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低24時間以上は水がかからないようにすること。

1. ①テール ゲート スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。

[下面視]

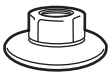


※L側も同様

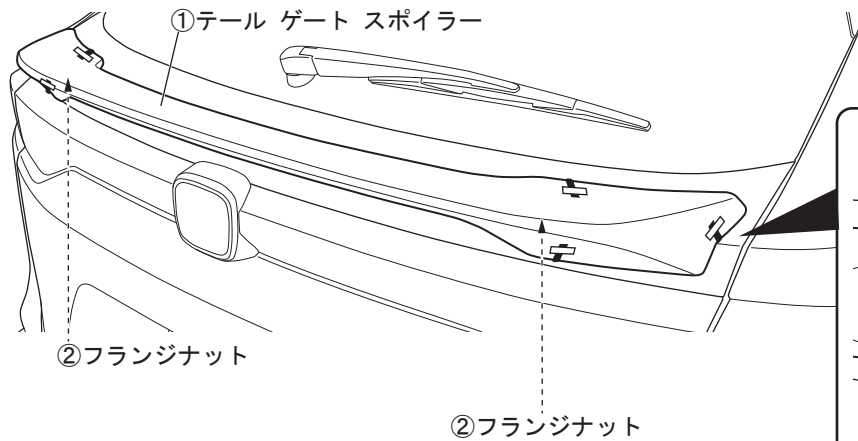
2. ①テール ゲート スポイラーをテール ゲートに仮当てし、取り付け位置を決めて軽く押し当て仮圧着する。  
テール ゲートを開け、内側のバルブ メンテナンス リッド開口部からアクセスして②フランジナットで片側1か所仮締めする。

[使用部品]

②(2)



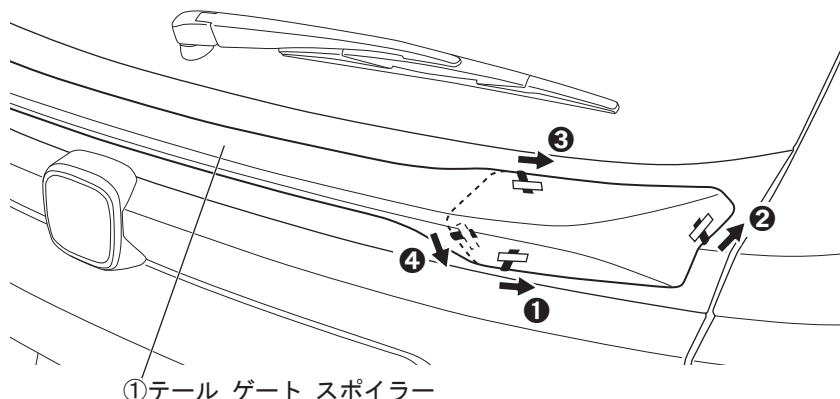
フランジナット



[取り付け位置基準]

※L側も同様

3. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。



①テール ゲート スポイラー

※L側も同様

※両面テープの圧着は十分行うこと。  
圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

**注意**

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。  
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

4. ②フランジナットを本締めする。

②フランジナット  
締め付けトルク  
5.5 N・m

5. テール ゲート内側のバルブ メンテナンス リッドを復元する。(片側1か所)

6. 貼り付け面を脱脂し、①テール ゲート スポイラー後面に③ステッカーを貼り付ける。  
貼り付け後、保護フィルムを剥がすこと。

※圧着の際は、スキージ (へら) を使用し、気泡が入らないよう注意しながら圧着すること。

※スキージ (へら) で製品表面に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。

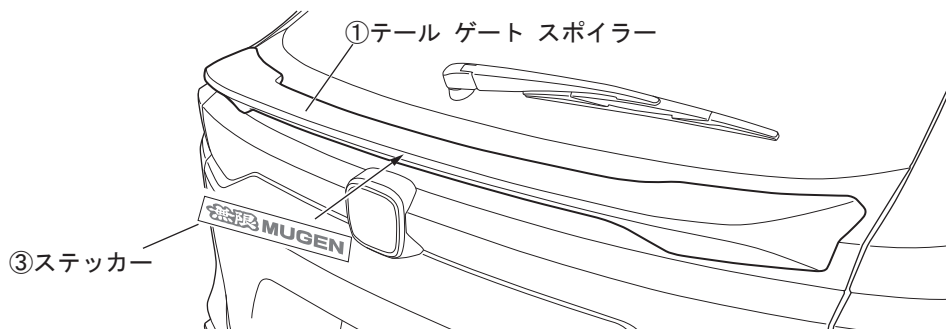
※高温 (30℃以上) や高湿度の環境下で作業を行うとステッカーの接着不良の原因になりますのでご注意ください。

[使用部品]

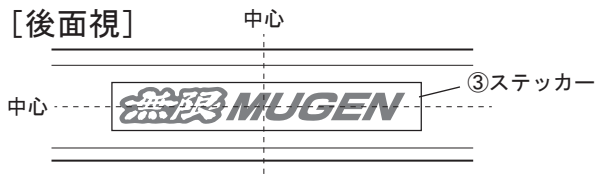
③ (1)



ステッカー



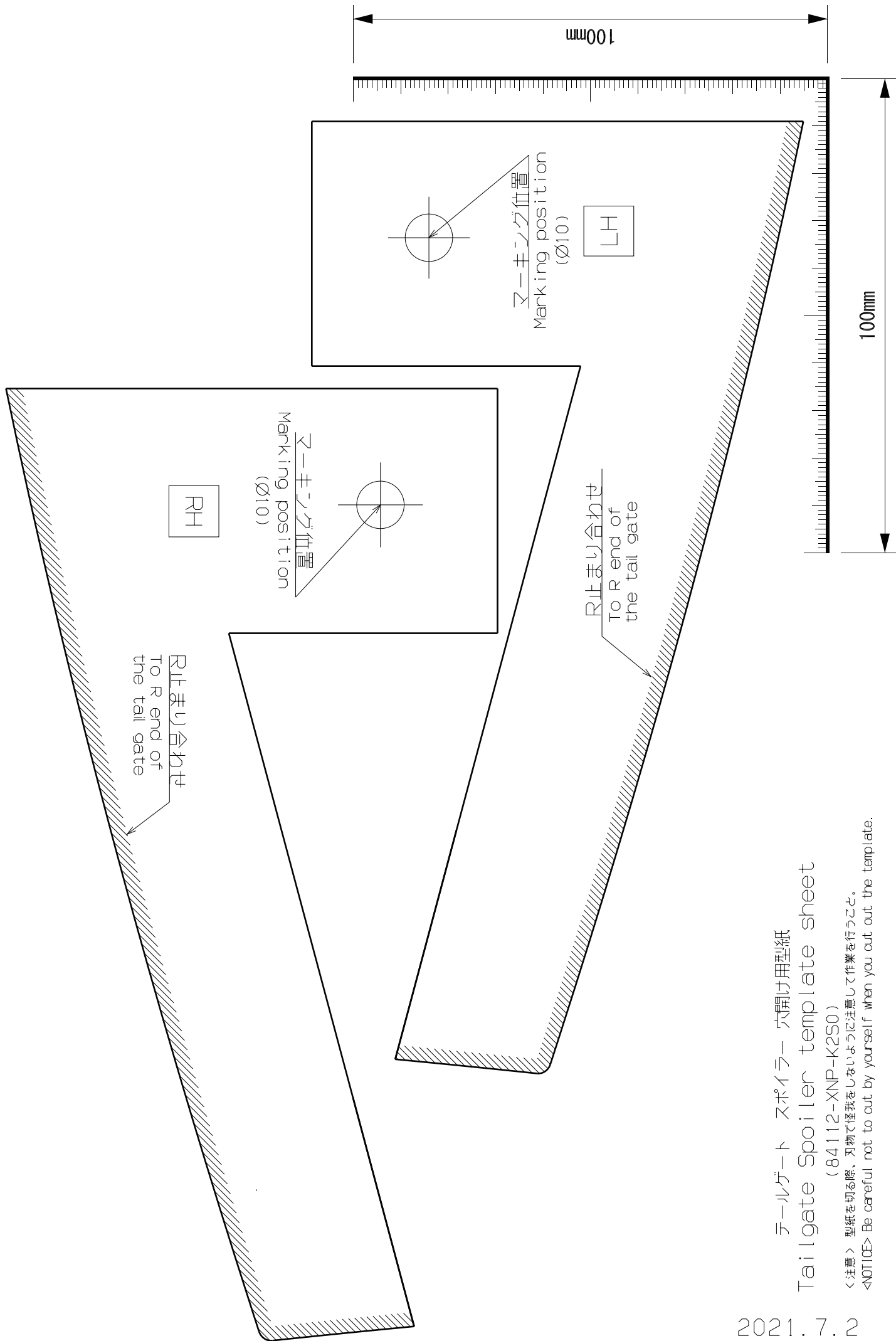
[後面視]



①テール ゲート スポイラー後面中心に合わせて貼り付ける。

[③ステッカー貼り付け位置参考例]  
※ここで明記している③ステッカーの貼り付け位置はあくまで一例です。  
ご自由な位置にお貼りください。

7. 取り付け状態に不良がないか確認する。



SCALE 1/1

テールゲート スポイラー 穴開け用型紙  
Tailgate Spoiler template sheet

(84112-XNP-K2S0)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。  
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.